

けんぱくものしりシート

キジ



【名前】 キジ
【分類】 キジ目キジ科キジ属
【生息地】 本州、四国、九州
【体長】 オス：約80 cm
 メス：約60 cm



解説員

『桃太郎』に登場する「キジ」は、みなさんも

よく知っている鳥ですよ。

昔から人々に親しまれ、美しく気品があり、勇ましいキジは、日本だけに
住む鳥で1947(昭和22)年に日本鳥学会の推せんによって「国鳥」に選ばれ
ました。さらに1964(昭和39)年には「岩手県の鳥」にも指定されました。

岩手県内全域にいるキジですが、みなさんは、その姿を見たことがありますか？

春先に野山で「ケン、ケン！」という

声だけは、聞いたことがあるかもしれませんね。

春になると、オスは、自分のなわばり宣言として

声を上げ「ドドド」と羽ばたきの音を出します。

ふだんは、林の近くの河原や農耕地などのなだらかな場所で暮らすキジで
すが、とても用心深い鳥なので、なかなかお目にかかることができません。





【特徴】オスとメスは、全く別の鳥のように、声も姿も羽の色もちがいます。オスは、はんしょくき(※)(4月~7月)になると、なわばり内のメスに美しい羽を見せて、こしの毛をふくらませ、尾羽を開き、顔も真っ赤にしてアピールします。(この行動を求愛ディスプレイといいます。)

(※)はんしょくき(繁殖期)：動物が子を産み育てる時期のこと。



あおみどりいろ あたま
青緑色の頭

なが おぼね
長い尾羽

オス **メス**

がた
ハート型の
あかにく
赤い肉すい※

なごえ
鳴き声は、
チーヨ、
チーヨ

にく
※肉すい：
うもうは
羽毛が生えて
いない皮ふの
こと。

メタリックな
こみどりいろ
濃い緑色

じみ うすちやいろ
地味な薄茶色

【子育て】メスは、草むらに巣を作り10個位の卵を産むと、一羽だけで温めます。24日間ほどでヒナがかえるとエサの探し方や砂浴びを教えメスだけで育てます。オスは子育ての手伝いをしません。



【足と羽】キジは、地表の虫やハコベなどの草を食べ、地面を歩いて暮らします。足が丈夫で数十メートルなら、犬と同じ速さで走るのほとんど飛びません。いよいよ危なくなると飛び立ちます。



【狩りょう】国鳥で、岩手県のシンボルでもあるキジですが、狩りょうが許され、食用にもなる珍しい鳥です。狩りょうをする場所や期間を決め、キジの暮らしを守っていますが、キジにとって一番こわいのは人間かもしれません。



参考 『カラー自然シリーズ 45 キジの暮らし』 偕成社 1982年 / 『これなあに? 現勢-6』 岩手県立博物館発行 1993年
『ニューワイド学研の図鑑 鳥』 株式会社学習研究社 1999年 他

「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のもので、最新情報ではございませんので、あらかじめご了承ください。
「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆しております。



モッチャン

岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www.2.pref.iwate.jp/~hp0910/>